

第22回（教育）分科会報告書

1. 開催日時 平成27年2月6日（金） 15:30～17:00

2. 開催場所 やめっこ未来館 学習室

3. 参加者（所属のみ）：筑後特別支援学校、県南筑後保健福祉環境事務所、ふるさと、陽だまりの里、蓮の実団地、ぱっそ、つばさらぼ、さら、ミライプラス、上妻小学校、岡山小学校、上広川小学校、福島中学校、西日本短期大学付属高校、八女市福祉課、広川町福祉、リーベル ※今回のみ参加：立花小学校、筑南小学校、立花中学校、南中学校、柳川市福祉

4. 実施内容

講演「一人一人が大切にされる共生社会を目指して ～思いを伝え、思いを知り、お互いの立場で考える～」

講師：柳河特別支援学校 教諭 後藤 宏 氏

○講演内容まとめ

・人と関わる専門職として必要とされる知識・技術・価値

・一人一人が大切にされる共生社会について考える。（しょうがい、特別支援教育、共生社会って何？）

・絵本「なんでバイバイするとやか？」を通して考える。（絵本の読み聞かせ）

・絵本ができた経緯と取り組み

・子どもたちへのメッセージ「素敵な大人になるために・・・」



<分科会アンケート（抜粋）>

・この本は随分前に手に入れて好きな本の一つでしたが、どんな思いでできあがったのかをお聞きして、また新たな観点で絵本を見ることができました（心に響きました）。この本を使うときの思いが、ちょっと深くなるような気がします。今、担任している子ども達も地域で共に生きていけるような社会を目指して、周りの子と繋ぐ取り組みをしていきたいと思います。

・この本のことは知っていたが、ただ読むだけで終わってしまっていた。機会があれば、ぜひ教材化を図っていききたいと思う。人権啓発に使える本だとつくづく感じた。「素敵な大人に」に一人ひとりの子どもを育てていくために、ぜひ伝えていきたいと思う。共生社会、でも現実になかなか厳しいものがある。一人でも多くの子どもの考えさせていければ・・・。



・お互い思っている事を、繋げ、分かってもらおう事の難しさを感じました。とても良い講演でした。

・後藤先生のお話を聞く中で、支援者の役割を見直してみました。非定型発達のお子様のできることを増やすのが役割と思っていましたが、地域の方との橋渡しの役割もあると感じました。学校や保育園に訪問することも多いので、その時に、少しでもお互いが理解し認める橋渡しをしていきたいと思います。

- 今回の研修会でくみ取った思いを、職員に伝達できるようにしていきたいと思います。利用者の何気ない一つの言葉、行動でも「その意味」を理解できるようにしていけたらと思います。

